



刊夕日十三月四

田中男の政友會入りは實に思ひ切つた大膽な行動と云はねばならぬ政友會の傳絶的精神とも云ふべくして其大をなしたるものは實に金を中心となつて居る固より何れの政黨と雖も金なくして働きは出来ぬのであるが政友會は特に此の點に重きを置いたのである黨費として莫大な金を出資すれば入獄日向淺くして經驗左迄

深からずと雖も大臣の地位をかち得ることも敢て珍らしくはない中橋、高橋、山本の諸氏が政友會員として經驗少きにも拘らず原敬氏が如き或は山本象太郎氏が近來羽振りを利用せ居るが如き内田信也氏が凡て幹部格として公私の會合に出席し如何に金が力を有しつゝあるかを知る事が出来る高橋氏の政友會を脱退したのも同氏が金の點に於て昔日の如からず黨員全体の期待せる程の出資を仰ぎ得ざりし事が因をなしてゐると同時に田中男を仰へたるも同

男が必ずや相當の金を作り得べしと云ふ確信が政友會の策士の顔を支配したからである尙今一つ田中男に期待する處は政黨に付き物の權力であるが田中男が彼等政友會員の希望するこの二つのものを充分に提供し得るや否やと云ふことは同男成敗根本をなすものである故に田中男として此二點に向つて渾身の力を盡すにあらざるば金の切れ目が縁の切れ目の俗語に漏れず高橋の二の舞を演せねばならぬことになるのである

逸獨 高級眼鏡 (メニスカス) 眼鏡

下皆さんがお好みにならぬです。答、掛け心地が良く、眼や脳へは絶對弊害がなく、時々するからです。

常盤屋 時計店 平町一丁目 電話三三九番

家庭教育玩具 最新特許出願 附第一七七八番

各學校幼稚園實地應用の結果賞賛を博し感謝状を賜はる

小供用十五錢 教授用一圓

會商 ヤキラア (販賣所) 館業産會博小 作榮條西 (元製造) 市上巨水

全染物刺子 柏傳の 相屋深物店

小僧さん入用 食へてたいしい (有聲座隣)

春装ノ要具

最新の流行柄豊富に 取揃へました

ツルヤ 平四丁目 電話一四〇〇

新形の合服 がいろ／＼澤山 揃ひました

レインコート 七廣 三ツ組 立エリ上下 夏トソビ 其の他各種 是非春の御支度は 勉強の平二丁目 なかや洋服店にて 電話二〇三番

平町會議員候補者トシテ

丹野榮三郎君 柏原眞吾君

二丁目一同 平町有權者有志

渡邊貫一君 最適任者ト信シ推薦シ協力其當選ヲ期ス

一丁目有志 一丁目青年有志 平町有志一同

平町會議員候補者トシテ 岩本重雄君 最適任者ト認メ協力一致當選ヲ期ス

田町區一同

文明人の子供は最も文明の玩具を喜ぶ

平町々會議員候補者トシテ 阿部政右工門君ヲ推薦シ 極力其當選ヲ期ス

搔槌小路區民一同 平小學校 三六會 磐城中學校同窓會有志 石城三田會

南科平町森會科醫院

凍傷新藥 (塗布藥) チユール (鹽野製) 十瓦入 三五 廿五瓦入 六〇

鎮咳祛疾新藥 (咳藥) プロチン (三共製) 一〇〇瓦入 一、〇五 一〇〇瓦入 一、七〇

解熱鎮痛新藥 (風藥) アルピリン (獨國) バイエル 十瓦入 二、二五 廿五瓦 二、〇〇

局藥内關 番〇四話電 日丁四町平

植竹氏に共鳴し

無理に五百圓寄附

大越中佐の銅像建立に 上原師の心盡し

去る五日琴曲界の泰斗上原真佐喜氏が大越中佐銅像建立費へ寄附の爲の演奏會を開催した事は既記の如くであるが今回右會合の収入として金五百圓を寄附した右に就き大越中佐顯彰會長植竹源太郎氏は「報酬を要しなかつたのですが其他總べての出費が二百圓位はあり収入として五百圓を越さないのですから差引三百圓以上の寄附は出来ぬ筈ですのに五百圓の寄附を申出られました、其處で私は大いに

恐縮し種々上原師と押問答を致したのですがどうぞ受けて呉れど無理々々五百圓を寄附して下さつた様な次第で私は實に有難涙に暮れました

平 増資拂込

銀 頗る順調に

石城郡平町平銀行にては過數百萬圓の増資を斷行した處約三倍といふ好成绩の應募者があつたがその第一回拂込を去る廿五日を以て締切つたが支店出張所取扱のもの、少數を除き全部の拂込を了し頗る順調であると

勿來町

祝賀會舉行

來る十七日に

長橋町豫選

植頭氏が考慮中

イツの選舉にも町内が一致し極めて平穩な長橋町では他の町内が既に候補者を公認し或ひは豫選會を開いて種々段取りを定めて居るのに平然と鳴りを鎮めて居たが昨今各町からの運動員等もソロ／＼入り込んで來る爲め愈々結束の必要を感じ昨日午後一時から性源寺に

昨日の平青年團總會

大森團長この惜別

新團長には山崎氏當選

既報平青年團にては昨日午後一時から平第一小學校講堂にて總會を開き先づ大森團長の詔書並びに令旨の奉讀に次いで會則

改正を

附議し緑川

副會長の庶務、馬目同の會計各報告あり役員改選に移るに際し緑川氏から大森團長が今回立候補せる關係上辭職願を提出した旨を報告し留任希望の者多數あつたが結局大森氏の意志を尊重して辭職願を受理する事と

の餘興を演ずる由である

優勝旗披露式

石城郡高久村の青年團と武徳會

が主催となり本日午前十一時から同村小學校庭に於て過數石城郡武徳會から受賞した優勝旗の披露式を兼ね

偽の電報で

百圓直ぐに送金せよ

危く詐取される處を

郡山市で捕る

石城郡警備村小野源藏の處へ去る廿四日郡山市に商用の爲め滞在中の父與弟吉

があつたので早速郡山局留電報爲替を父の許迄送つたが夫れと摺りちがいに父與弟吉から商用も濟んだから二三日中に歸宅する旨の書

面が源藏の手許に届いたので初めて偽電と判明、早速郡山局に其旨を報告すると同時に平署に訴へたので郡

山署でも犯人逮捕に努めて居た處、去る廿七日午前十時郡山市内を徘徊中なりし

安積郡福山村渡邊義勝(三)を眞犯人とし逮捕し平署から猪狩刑事出張の上義勝を

劍道會を催す由

相馬民謡大會

聚樂館にて

相馬民謡會では五月二三の兩日平町聚樂館に於て民謡大會を催し相馬名物流山石城名物めでた其他をやる

高橋氏公認

白銀町にて

過數豫選會を開いた白銀町では吉田禮次郎、志賀千鶴の兩氏が辭退して受けない爲め昨日更に第二回の豫選會を開き

七十二票高橋龜松、四十九票松永友太郎、廿四票清水廣政、十一票高柳金三郎、七票櫻井清

の結果にて高橋氏に交渉を開始したから多分同氏の出馬を見るに至るであらうと

諏訪神社祭禮 石城郡小名濱町村諏訪神社は



つくしの白あへ

つみ草のお土産につくしの御料理を申し上げます。つくしの袴を去り、ゆで、あくぬきをして置く、豆腐は水

慰勞を

兼ねた懇親會を開き三森虎雄氏の移居

大森氏の謝辭あつて宴に移

熱心な交渉

山崎清三氏が新團長に當選せる爲め本日午前十時緑川馬目、酒井の三氏が同氏を訪問し團長に推戴せる旨の交渉を進めた結果山崎氏は

現に在郷軍人分會長である故を以て辭退したが三氏の熱心なる勸説により尙ほ考

慮の餘地を與へられた旨に三氏は一縷の望みを殘し更に在郷軍人分會幹部

本日祭典を執行由車を出して藝妓の手踊があつたと

所得税の

申告約二千

納税者は三千

所得税申告期日は今三十日であるが昨廿九日現在の申告者は約三千の納税者中平稅務署直接或は各町村廻送を合計して約千餘あつたが今三十日中各町村よりの廻送するもの多數に達するらしくの切り迄には或は二千は突破するであらうと觀られてゐる

谷間に轉落

三日後に

屍體發見

石城郡上小川村大字上小川字柗平農丹野榮五郎(七)は去る廿六日朝酒の一杯氣嫌で山に行き篠竹を狩らんと

募集

文藝其他投稿を募集します

然に萌出でた摘草は、不自然な人工を加へたくありません出來るだけ色も香もそのまゝに賞美することが、一番大切なことです、料理といふものは無理をすれば何でも出來ますしかしそのもの、獨自な持ち味をたまたせるのでなければなりません

萬人期待の松竹下加茂超特作大名篇

問題の妖婦劇 明治の女賊 連続時代劇 全十二卷

高橋お傳 全十二卷 全篇悉く美の極、悪の極、極性に悶ゆる慘虐の血潮、本映畫上映さるゝや、白熱的好評、愈本週にて快結

終連続冒險 死の渦巻 全十五篇三十一巻 本週六巻上映

松竹浦田超特作大名篇 久かた振にて 川田芳子 藤野秀夫共演

運命罪なき罪 全七巻 女の愛は男を殺すものか 男の愛は女に救はるものか? 五月一日ヨリ松竹キネマ 特別公開直平館